

釧路南ロータリークラブ会報

第8回 例会報告 2021.9.3 通算1860回

・点 鐘 亀井会長

・ロータリーソング

「君が代」「奉仕の理想」「四つのテスト」



ソングリーダー 川越 直人会員



佐久間 光弘会員

・誕生祝

石井 昌宏会員 S54.9.6 (42歳)

・入会記念祝

亀井 麻也会員 H24.9.14 (9年目)

石井 昌宏会員 H28.9.16 (5年目)



亀井 麻也会員

・会長挨拶



先週の清掃例会では暑い中の作業、お疲れさまでした。今回の依頼は鹿の排泄物の清掃でしたが範囲が広大なことと予想を超える量に驚きました。

作業中は、公園内を散歩されている方に労いのお言葉をかけて頂いたもので少しお話をさせていただき

ましたら日頃より大変困っているとの事でした。9/12にはロータリー奉仕デイの一環で、地球環境保全プロジェクトが行われる予定です。ロータリーファミリーや他のボランティア団体、地域住民と共に実施するグローバルイベントで大楽毛海岸の清掃をします。当クラブからも会長幹事始め数名参加登録をしております。貴重な休日にご参加いただくことになりませんが宜しく願い申し上げます。8月末に再三の緊急事態宣言が発令され、本日の例会は時短、次週の献血例会は休会とさせていただくことになりました。宣言が解かれましても、油断禁物ですが釧路市内も中年層のワクチン接種の予約受付が始まったようです。私は8/22に二度目の接種を終え、発熱や痛み等はなかったのですが、倦怠感がまだ抜けていないようです。ワクチン接種につきましては任意ですが、接種後の感染者も出ております。やはり感染対策を怠らないことが重要です。このあとはロータリー月間テーマについてのプログラムを国際社会奉仕委員会 前田副委員長に担当していただいております。本日も宜しく願い致します。

・幹事報告



- * 根室ロータリークラブより9月のプログラムと会報が届いております。
- * 各クラブより9月のプログラムが届いております。
- * 一般財団法人 比国育英会バギオ基金よりお便

りが届いております。

- * NPO 法人くしろ・わっとより9月1日発行の第106号だよりが届いております。
- * 2020-2021年度に会員維持率100%を達成しました我が南クラブへ松田パストガバナーより感謝状が届いております。
- * 今月から行われる第7分区のガバナー公式訪問日程表が届いております。以上それぞれ、回覧にてご覧ください。
- * 今月のロータリーレートは1ドル110円となっております。
- * 9月号ロータリーの友が届いておりますので、皆様お持ち帰りください。
- * 先日、皆様にメールでお知らせいたしました、今月10日に行われる献血のご協力ですが今現在参加者がおりません。今日出席された皆様の中で、参加希望の方おりますでしょうか、是非血液に自信のある方宜しく願いいたします。
- * 17日の例会（ガバナー公式訪問を前にして）ZOOM配信はなしの例会になります。よろしくお願い致します。

・委員会報告 親睦委員会



- ・本日のニコニコ献金

亀井 麻也会長

入会9年目になりました。今後とも宜しく願いいたします。

・ロータリアン・マスターズゴルフ大会

南 RC 実行委員会 長江勉会員



RI 第 2500 地区 第 7 分区 2021～2022 年度

“ロータリアン・マスターズゴルフ大会

(漆崎杯)”のご案内

拝啓 新緑の候、貴クラブにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

敬具

平素よりロータリー活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、コロナ渦ではありますが、第7分区のロータリアンがゴルフを通じて親睦と友情を深め、ロータリーの奉仕の精神を実践し社会貢献を目的として、恒例の「ロータリアン・マスターズゴルフ大会」を開催致します。お忙しいこととは存じますが、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

敬具

記

- 開催日時 : 令和3年9月25日(土)
12:30 スタート
- 開催場所 : 釧路カントリークラブ 東コース
- 主催 : 国際ロータリー
第2500地区 第7分区
- 競技方法 : 18Hストロークプレー ダブルペ
リア方式ダブルパーまで
- 受付時間 : 11:30～12:00
- 集合 : 東コース茶屋前 12:00
- 参加費 : 3,000円 (プレー代は各自ご負担
ください)
- 登録締切 : 令和3年9月15日(水)

● 表彰式・懇親会

本年度はコロナ渦の為行いません。

※参加費は各クラブ一括にて9月15日(水)までにお振込み願います。

問合せ先 : 担当クラブ 釧路北ロータリークラブ

実行委員 坂入 信行 090-3118-0524

実行委員 多田 洋平 090-8630-2911



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

・本日のプログラム

「 基本的教育と識字率向上月間 」

担当 国際奉仕委員会

◆前田副委員長



「基本的教育月間と識字率向上月間」ということですが、この問題が未だ強化月間として残っているということは、満足な教育を受けられない子供達がまだまだ大勢いるということ、以外と先進国においても識字率の低さは未だ目立っております。しかしながら日本国民に於いては読み書き能力はほぼ 100% 備わっているのが現状です。しかも 1600 年代江戸時代中期の頃より日本は世界中と比べ、子供達の識字率は断トツに高かったようです。諸外国の時事関連の報道等を見聞きしていると、その国内での国民の識字率の差が諸悪の根源を成しているように思います。高度な教育を受けた僅かな人達と満足な教育を受ける事が出来ない大勢の人達、未だに階級社会が堂々と表舞台に立っているこの世はまともな社会ではありません。国民を第一に想うならば、国民全員に教育システムを浸透させることなど簡単なことであり、事実遂行してきた国々も存在しています。むしろわざとこの状況を作り出しているのではないのでしょうか。中世から現代まで何も変わっていないのかもしれませんが。私達 1 個人同士がこの問題に向き合ったところでこの先将来を含め、何かが変わるのでしょうか。変わらないでしょう。と言うことで、これから本題に入ります。

以前私が会長の時に、この識字率について少々お話

させて頂きましたが、諸外国の問題はさておき、やはり我々日本人はもっと自分の国のことを知るべきであり、より真実に近い情報を取得、共有しなければならず、国を変えるという事はそのような国民の意思共有が必要不可欠であり、決して政治が国を変えるものではありません。話をもとに戻して以前話した内容を深掘りしますが、中世の日本と欧州を比較してみましょう。(日本以外の国は欧州各国の植民地であり、米国は欧州そのもの、比較対称はこれのみ) 当時はどちらも完全なる男性社会、殆どの物事を男性が決定し女性の発言は許されませんでした。欧州社会では女性・子供はどのような存在だったのかということ、男性の所有物であり又は労働力でしかなく、どちらにも虐待は日常茶飯事、家庭内において男性は絶対君主のような存在だったようです。昔の家や城からは拷問用の器具がたくさん発見されています。何故このような器具がたくさん出てくるのでしょうか、特に鞭は子供の躰と称して使用されていたようです。日本には無い文化です。私たちが良く目にする光景として競馬で馬の尻を鞭で叩いて走らせますが、違和感を感じませんか？まさに欧州文化そのものです。我々日本人も叩け叩けと半狂乱で騒ぎますがお金という魔物のせいでしょうか、日本人らしくありません、動物愛護協会は何も言わないのでしょうか？馬が喜んでいても思っているのでしょうか？人間以外の全ての動植物は善悪の感情はありません。子孫継承のための行為をもって連綿と生きていきます。損得で動く恐ろしい人間が介入することによって全てのバランスは崩れていきます。この世はまさに地獄のようなもの。(また脱線？)

欧州社会は王族が世を治めその他平民は単なる労働力、学問による余計な知識は国を滅ぼしかねない事案であり、最重要案件でありました。昔も今も暴動が起きれば魔女狩りのように知識人は幽閉されてきました。このような背景から家庭単位でも同じような振る舞いや行為に発展していき、子供たちに

は読み書きすら学習する機会が与えられなかったのかもしれませんが。当時の先進国は欧州の各国のみなのですよ。

さて、日本に戻りましょうか。では、日本の社会は女性・子供に対してどのように接してきたのでしょうか。子供は神様からの授かり物で神そのものであり、子供たちの遊びや振る舞いには何も言わず、悪さやいたずらに対して叱ることもせず、黙って見守っていたのです。子供たちが宝物であるならば親だけではなく、集落全体で育てていくことが自分たちの繁栄に繋がること、社会が良き方向へ進む事であると正しく認識していたのでしょう。

当時鎖国でありながら一部の国とは宣教師を通じて貿易は行われていました。宣教師は布教のために全国各地に足を踏み入れました。当時のたくさんの回顧録によると、姿形は奇妙だが小さな子供までも読み書きができ、銭の勘定すら出来ると大変驚愕していたそうです。当時の日本では先程示したように、大人の子供たちに対する思いは自分たちより高位の存在なのです。

まさに未来は子供たち、全国各地で寺子屋を開設し、学問をしたい子供たちに無償で読み書きそろばんを教え、貧富の差に関わらず教養を身に付ける事が出来ました。現在の社会は当時の社会の支店、物事の道理、節理には程遠く、退化していると言わざるを得ません。また、女性に対しては男性社会ではありませんが、実は表に立たされているのが男性であり、陰で支持、指導しているのが女性である、文献によれば大昔から豪族や武将たちはここ一番、判断しなければならぬときには良く側近の女性の意見を聞き、舵取りを行ってきたようです。

なるほど！現在の社会を鑑みると国家も企業もその他全ての行為で、女性と男性が競走したならば間違いなく上位は全て女性が君臨することになるでしょう。男性は体を張っての労働力のみしか残らないでしょう。余談ですが、欧米から始まった男性社会からの脱却として、レディファーストなるものが

ありますが、先ほども言ったとおり欧米社会の女性・子供に対する考え方と日本は全く逆なので、一部を除いて日本社会ではレディファーストという言葉は当て嵌まりません。もともと女性の方が上なんですから。男性のみの社会は即崩壊、女性のみの社会は繁栄、そう思いませんか？話が脱線ぎみだったかもしれませんが、「基本的教育月間と識字率向上月間」ということで僭越ながら生意気な話をしてしまいました、読み書きが出来ないという事は自分の想いを表現出来ないし、相手の想いも理解出来ない訳ですから、生物として生存出来ない欠陥品になります。非常に悲しいことは全人類の識字能力は先天的なものではなく、後天的な学習によるものでありそこは平等であるはずなのですが、有史以来何故か解決できない問題になっています。これには得体のしれない大きな力が働いていると思わされます。最後に、私たちに出来ることはやはり廻りの身近な存在から少しずつ大きな輪を作っていく事。そして今、この日本では基本的教育の方向が間違っており、そこに比例して国の指導は間違った方向に進路を進めているのではないのでしょうか。まずは私達大人？からあらゆるものに対して真実はなんなのか…見極める目と心を磨いて養っていく事こそが、今月のお題目による宿題なのではないのでしょうか。以外と嘘だらけのこの世であっても真実は表裏一体である。以上です。



・次回のプログラム

9月10日（金）休会（コロナウイルス感染拡大
防止・緊急事態宣言発令の為）

9月17日（金）

「ガバナー公式訪問を前にして」12:30～

会場 ANA クラウンプラザホテル釧路+WEB

担当：会長・幹事

・点 鐘 亀井会長

今週の会報担当：佐野実会員